

第2回常任理事会報告

日 時 平成18年5月12日(金)午後2時~同4時30分
場 所 日本歯科医師会 10階会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 黒崎紀正、井出吉信
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、相馬邦道、高木忠雄、
佐藤田鶴子、江里口 彰、恵比須繁之、赤川安正、
宮崎 隆、栗原英見、荒木孝二
欠席者 <常任理事> 土屋友幸

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

(1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

一般会務報告(平成18年4月14日~平成18年5月11日)

第1回理事会報告(平成18年4月14日開催)

第1回常任理事会報告(平成18年4月14日開催)

(2) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき会計現況報告がなされた。

学会会計（平成18年4月1日～平成18年4月30日）

(3) その他

住友総務理事から、次の資料に基づき報告がなされた。

「学会選挙管理委員会」委員の交替について（依頼）

（発信元：社団法人日本歯科医師会 会長 大久保満男）

新選挙管理委員会委員：内山文博（日本歯科医師会専務理事）

村上恵一（日本歯科医師会常務理事）

旧選挙管理委員会委員：蒲生 洵（前日本歯科医師会専務理事）

倉治康男（前日本歯科医師会常務理事）

財団法人8020推進財団理事の推薦について

（発信元：財団法人8020推進財団 理事長 大久保満男）

標記理事として江藤会長を推薦した旨の報告である。

平成18年度8020研究事業公募について

（発信元：財団法人8020推進財団 理事長 大久保満男）

江藤会長から、次の資料に基づき報告がなされた。

日本歯科医師会と日本歯科医学会との当面の協議課題

その他

住友総務理事から、日本歯科医師会学術・生涯研修委員会の委員に、同委員会と本学会のパイプ役として、住友総務理事が就任する予定であることが報告された。また、江里口常任理事から、同委員会の役割及び業務内容についての説明がなされた。

4. 協 議

(1) 「日本歯科医師会・日本歯科医学会・日本歯科医師連盟

合同ワークショップ湘南」の実施について

住友総務理事から、標記実施内容等について資料に基づき確認がなされた。

また、実施の目的にあっては、日歯が学術団体であり、その中核を担っている本学会の役員が参加することは当然のことであるとの共通認識に至った。

日 時	平成18年5月18日(木)午後1時開会 平成18年5月19日(金)午後3時解散
場 所	湘南国際村センター(神奈川県三浦郡葉山町)
課 題	1. 歯科医療供給と医療保険制度 2. 高齢社会と歯科 3. 日本歯科医師会・日本歯科医学会の連携を強めるため
参加者	日歯役員、本学会役員、連盟役員、日本歯科商工協会(オブザーバー)

(2) 日本歯科医学会と中華口腔医学会との交流協定について

住友総務理事から、標記について資料に基づき説明がなされ、引き続き、江藤会長から、補足説明がなされたのち、協議の結果、同交流協定については、本年9月開催のFDIシンセン大会での調印に向けて次の点を留意し、作業を進めることを全会で承認した。

大学間協定と同様、医療・研究・教育の発展を目的に、縛りのない緩やかな内容とする。

交流協定の原案を作成し、6月の常任理事会に提案する。

さらに、ブラッシュアップした案を、7月の理事会で協議し、7月28日(金)の第76回評議員会に上程する。

この間、中国側の提案とのすり合せを迅速に行う。

その後は、国際戦略を図る上で、中国のみならず、アジア諸国との学術交流協定を視野に入れ、提携の実現に向け、進めて行く。

(3) 日本歯科医学会組織の改革について

- 機構検討臨時委員会の答申の取り扱いについて -

井出副会長から、標記改革について資料に基づき説明がなされ、協議の結果、当該委員会答申の趣旨を継承しつつ、発展させた組織改革に取り組むこととした。

特に、未加入学会の新規加入の実現に向け、本学会の求心力を高めることを目的に、組織を再構築していくこととした。

なお、その原案の作成については江藤会長一任とし、6月の常任理事会に提案する。さらに、ブラッシュアップした案を、7月の理事会で協議し、7月28日(金)の第76回評議員会に議案として上程することにした。

(4) 歯科医療の学術的根拠の構築体制について

- 歯科医療協議会の改組に伴う覚書の取り扱いについて -

黒崎副会長から、標記構築体制について諮られ、協議の結果、組織の構築に際しては、効率性および機動性を意識しつつ、5月18日・19日に開催される合同ワークショップでの意見をすい上げ、日歯と対応を図っていくこととした。

(5) 歯科における研究成果を臨床現場へ迅速に広める方策について

江藤会長から、学会の役割として、研究成果を迅速に臨床の現場へフィードバックする必要性について、説明がなされた。また、許認可に関する法律の改正(6月予定)を踏まえ、日本歯科商工協会他2団体が提唱している「歯科医療機器産業ビジョン(案)」の報告がなされ、協議の結果、本件の対策は継続審議とした。

(6) 日歯・疑義解釈委員会委員候補者の推薦について

住友総務理事から、標記について諮られ、人選については江藤会長一任とし、本日、日歯へ回答することとした。

(7) 財団法人日中医学協会理事及び評議員の推薦について

住友総務理事から、標記について諮られ、本学会の役員改正に伴い、理事に江藤会長(前任者:斎藤 毅 前会長)、評議員に黒崎副会長(再任)、井出副会長(前任者:下野正基 前総務理事)を推薦することとした。

(8) 「診療行為に関連した調査分析モデル事業」に対する関係学会の協力について

住友総務理事から、標記について諮られ、本学会としては推薦されている13名の委員を承認することとした。

なお、本学会推薦委員に対し、本件の周知徹底を図ることとした。

(9) 第12回咀嚼と健康ファミリーフォーラムへの後援名義使用について

住友総務理事から、標記について諮られ、全会でこれを承認した。

(10) シンポジウム「歯科医療分野における診療ガイドラインの構築」への後援名義使用について

住友総務理事から、標記について諮られ、全会でこれを承認した。

(11) 役員派遣について

住友総務理事から、役員派遣について諮られ、次のとおり決定した。

日本歯科放射線学会第47回学術大会懇親会

平成18年5月13日(土)午後7時

ホテルメトロポリタン エドモント2階(東京都千代田区)

[出席者] 会長 江藤一洋

第47回日本歯科医療管理学会学術大会懇親会

平成18年7月1日(土)午後6時

札幌プリンスホテル 国際館パミール 3階中ホール(北海道札幌市)

[出席者] 副会長 黒崎紀正

(12) その他

江藤会長から、各種委員会の立ち上げについて、各担当常任理事と委員構成等をすり合せ、円滑な委員会運営を図ることが提案され、これを全会で承認した。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。